

【高砂市ゲートポンプ場】

平成 23 年の台風により大規模な浸水被害が発生し、それを解消するため高潮対策も含めた大規模な治水対策が行われ、その一環でゲートポンプ場も整備された。専用のポンプを必要とせず、ゲートの逆流防止機能にポンプの排水機能を追加したシステムで、経費節減、敷地面積の削減、騒音の低減につながっている。近年頻発している本市の内水氾濫の対策として、この方式のポンプを採用し治水対策を進めるべきである。



【広島市中工場】

従来のゴミ処理施設のイメージを覆すようなデザイン性に優れた美しい施設で、ガラス越しに稼働している施設を見ることができ、市民にも親しみのある場所として 24 時間開放されている。温水プールの併設、イベントの開催等、地域の理解を深める取り組みも行われている。有田地方でもゴミ処理施設の建設が予定されており、非常に参考になる施設であった。



【広島市安佐市民病院】

令和 4 年に開設された最新鋭の医療施設で、一般病床 414 床を備え、高品質な医療サービスを提供している。医師・看護師・薬剤師不足に加え、経営難の問題を抱えており、駐車場の有料化やコスト削減に力を入れている。患者ニーズに対応するため病室の 5 割が個室化、災害時の拠点病院として、ヘリポートの設置、千人規模で収容できるレイアウトになっており、新有田市民病院の完成をイメージできる施設であった。

